

第 29 回 あきらめない

昨今の社会情勢の中、地方の小さな離島や過疎地域は、都市部への人口流出により、一層少子高齢化による人口減少が進んでいます。伊豆半島南部の下田・賀茂地域もその真っ只中におり、地域内の経済は多分に漏れず縮小しています。

今までの資本主義のように、地域内での数に頼る経済発展は、人口が減ることにより見込めなくなっています。だからといって町の将来は悲観的でしょうか。

松崎町だけでなく多くの地域が同じ課題に直面しています。大好きなわがふる里松崎町を消滅させないためにも、「あきらめない」ということが求められています。自分たちのふる里を守るため、そこに住まう全ての人が充実した人生を送れる地域こそ、魅力ある地域となり、多くの方が訪れたい。どんな逆境に立たされようとも、どんないばらの道が目の前に広がっても、ふる里が元気になるために、いくつになろうとも学び続け、松崎町を誇りに思える町にしていきたいと思います。

極寒の地、十勝帯広を開拓した依田勉三翁の精神文化を引き継ぎ、新たな時代に果敢に挑戦していく地域にこそ、人が集い発展すると信じて、あきらめずにまい進してまいります。